

資料の概要について

1 議事について

議案 1 高知県安全安心まちづくり推進会議構成員による令和7年度 の取組実績及び令和8年度の取組計画について（資料1～3）

昨年度は、推進会議構成員の各団体が、推進会議の重点テーマに沿った取組を積極的に行っており、特に、子どもや高齢者などの安全確保に関する活動は、独自又は関係団体と連携した取組が活発に行われている。

また、各団体は、自らの特色や専門性を生かして、重点テーマ以外の分野における活動も行っており、安全で安心な高知県の実現に向けた取組が推進されている。

議案 2 高知県安全安心まちづくり推進会議構成員による令和7年度の 取組実績等の公表について

議案1の内容を県民生活課ホームページに掲載し、公表する予定である。

議案 3 高知県安全安心まちづくり推進会議事務局による令和8年度の 取組について（資料4）

消費者月間中の5月25日に、高知大丸北側アーケード内で、幼稚園児と特殊詐欺及び悪質商法被害防止の啓発活動を行った。園児が通行人に対して啓発物を配りながら、元気よく被害防止を呼びかけた。

また、11月15日には、イオンモール高知において、例年大盛況となる防犯啓発イベント「安全安心まちづくりひろば」を開催するなど、他の取組も昨年度に準じて行う予定である。

2 高知県内の犯罪情勢及び交通事故情勢について

(1) 県内の犯罪情勢について（資料5）

※下線部は資料掲載外データに基づく。

県内における本年5月末現在での刑法犯認知件数は1,622件であり、去年同期比で総数は273件増加しており、一部の罪種（窃盗犯のうち侵入盗、知能犯のうち詐欺、風俗犯のうち性的姿態撮影等処罰法など）で件数が増加している。

また、特殊詐欺の被害は、本年5月末時点で認知件数66件、被害額約4億8,703万円（去年同期比で認知件数は4件の増加、被害額は約1,618万円の減少）となっている。

特殊詐欺の手口は、複雑・巧妙化し、全世代で被害が発生していることから、今後も継続して被害防止を推進する必要がある。

(2) 県内の交通事故情勢について（資料6）

昨年の県内における交通事故件数や高齢者の交通事故件数は、一昨年に比べて減少したものの、全事故死者数は4件増加している。

また、本年5月末時点での交通事故件数、死者数及び傷者は、いずれも前年同期比で増加しており、さらに「全交通事故死者数に占める高齢者の割合」が約7割と高い水準にあることから、あらゆる機会において交通安全の啓発を行う必要がある。